



いずみの苑 夏祭り開催

7月にいずみの苑にて夏祭りを開催しました。

各フロアで日程を変えて、輪投げやくじ引き、釣り堀やTVに盆踊りの映像を映して職員、入居者と共に踊ったりとフロアごとの夏祭りを皆さまと一緒に楽しませておりました!!

施設長より



今年は東京都心で6月後半に最高気温が35℃を超える日が観測され、8月中旬には猛暑日の記録が更新されました。また、全国各地での記録的な大雨とその被害を伝える報道が連日のように伝えられています。今年の夏は何かが違うと感じます。一方で、3年ぶりの行動制限のない夏となりましたが、新型コロナの第7波による急速な感染拡大から、感染リスクが大きい高齢者をどのように守るかが大きな課題となっています。

暦の上では秋とはなりましたが、暑さ、大雨、コロナ対策の日々は、まだしばらく続きそうです。当施設においてもそれぞれの対策に万全を期しながら、実りの秋を迎えられることを願っています。

施設長 矢嶋吉雄

施設内での様子

オンライン面会



事前に予約を取り、当日1Fロビーにてオンラインで面会を行っています。画面越しではありますが、久しぶりに顔を合わせると自然と笑顔がこぼれ、話に花が咲きます。

ラジオ体操



毎日午後3時に、ラジオ体操の音楽がかかり、体調を見ながら行っています。少しでも日々の運動不足解消につながればと、利用者の皆様と職員と一緒に身体を動かしています。

新型コロナ・オミクロン BA.5感染拡大について



7/26 現在、猛烈な勢いでBA.5の感染拡大が見られます。前回2月にピークだったBA.1の流行時も1万人の死者を出しており、その殆どは高齢者でした。今回のBA.5の感染力は過去最大であるため、施設クラスターを予防する事は極めて困難でしょう。ワクチンも重症化予防には効いても感染予防効果は低いため、特に高齢者やリスク因子のある人は感染しないことが重要です。施設入所の高齢者は特に、軽症であっても基礎疾患が多いため軽く済まず助からない事が多いのです。また、BA.5ウイルスは潜伏期が非常に短く症状も軽微な時期に感染力を持ち、かつ、検査などで捕まりにくい事も多いため早期隔離が困難です。一般人にとっては風邪で済みますが、ひとたび施設に感染が広がると高齢者は最も被害を受ける可能性が高いと思われれます。

常勤医師・瓜生 寛子

編集後記

施設内では工夫をしながら行事や活動を行っています。以前のように大勢での集まりや気軽に面会出来る日を皆さまも待ち望んでいる事と思います。今後も施設内での様子や情報を発信しながら地域の皆さまに分かりやすい施設でありたいと思います。(岡部)

いずみの苑広報委員

渡邊恵美	岡部秀輝
田中みどり	山崎征記
都筑まさみ	落合千佳